

令和 7 年 10 月 11 日
京 都 市 保 健 所

麻しん（はしか）患者の発生（10月10日確定） に伴う注意喚起

令和 7 年 10 月 10 日、医療機関から麻しんの発生届があり、検査の結果、同日、麻しんと確定しました。

当該患者の疫学調査を行った結果、下記の施設を利用しており、不特定多数の方と接触している可能性があることが判明したので、広く注意喚起するものです。

【患者の概要】

- (1) 年代・性別：10歳代 男性
- (2) 渡 航 歴：あり（ベトナム）
- (3) 主 な 症 状：発熱、咳、鼻汁、結膜充血、発疹
- (4) 発 症 日：10月2日
- (5) ワクチン接種歴：なし

【患者が感染性のある期間中に利用し、不特定多数の方と接触した可能性のある施設】

日時	滞在時間帯（目安）	施設※
10/8（水）	午後 7 時 00 分～午後 10 時 30 分	京都医療センター 救急外来
10/10（金）	午前 10 時 30 分～午後 2 時 30 分	京都医療センター

※ 麻しんウイルスの空気中での生存期間は 2 時間以下とされています。**現時点において麻しん患者が利用した施設を利用しても感染の心配はありません。**

※ 上記の施設におかれましては、感染拡大防止のために公表に御協力いただきました。施設への直接のお問合せはお控えください。

【市民の皆様へ】

麻しんの潜伏期間は 10～12 日（最大 21 日間）のため、令和 7 年 10 月 31 日までに発熱・発疹など、麻しんを疑う症状が現れた場合は、事前に医療機関に連絡のうえ、速やかに受診してください。

なお、受診の際には、周囲へ感染を広げないよう、マスクを着用し、公共交通機関等の利用はお控えください。

【参 考】

● 本市の過去 5 年間の麻しん発生状況

年次	市内発生数
令和 3 年～5 年	0 件
令和 6 年	3 件
令和 7 年	5 件（本件含む）

● 麻しんについて

・ 麻しんとは

麻しんは、空気感染、飛沫感染、接触感染により感染し、その感染力は非常に強いと言われています。免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ 100% 発症するとされています。

感染すると、約 10 日後に発熱や咳、鼻汁といった風邪のような症状が現れます。その後、一旦熱は下がりますが、再び高熱が出て顔・首・全身に発疹が現れ 4～5 日間続きます。症状は 7～10 日で回復します。感染力のある期間は、発症の 1 日前から、解熱後の 3 日後までとされています。

・ 注意喚起

麻しんを予防するためには、ワクチン（麻しん風しん混合ワクチン又は麻しん単体ワクチン）の接種が最も有効です。定期予防接種を未接種の方は早急に接種を御検討ください。

麻しんを疑う症状がある場合は、事前に医療機関に電話で麻しんの疑いがあることを伝え、早めに医療機関を受診してください。

（参考） 令和 7 年度麻しん・風しん（MR）予防接種定期接種対象者

第 1 期…令和 7 年度、生後 12 月から 24 月に至るまでの間にある人

第 2 期…令和 7 年度が小学校就学前の 1 年にある人※（いわゆる幼稚園等の年長に相当する人）

※令和 7 年度：平成 31 年 4 月 2 日から令和 2 年 4 月 1 日生まれの方

注：令和 6 年度対象者のうち、麻しん・風しん混合ワクチンの供給不足により、令和 6 年度中に接種を行えなかった方については、定期接種の期間が令和 9 年 3 月 31 日まで 2 年間延長となっています。

令和 6 年度麻しん・風しん（MR）予防接種定期接種対象者

第 1 期…令和 6 年度内に生後 24 月に達した人※¹

第 2 期…令和 6 年度が小学校就学前の 1 年にある人※²（いわゆる幼稚園等の年長に相当する人）

第 5 期…風しん追加的対策の対象者（昭和 37 年 4 月 2 日～昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性）で、令和 6 年度末までに抗体検査を実施したが、予防接種を受けていない人

※¹ 令和 6 年度：令和 4 年 4 月 2 日から令和 5 年 4 月 1 日生まれの方

※² 令和 6 年度：平成 30 年 4 月 2 日から平成 31 年 4 月 1 日生まれの方

<お問合せ先>

京都市保健所 医療衛生推進室医療衛生企画課

電話：075-222-4244